



環境経営レポート

2024 年度

(対象期間: 2023 年10月1日～ 2024 年9月30日)



作成日: 2025年1月31日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針 環境保全への行動指針	3
組織の概要 事業・製品の紹介	4
設備一覧	5
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	6
主な環境負荷の実績 環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組計画	8～12
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	12
緊急事態対応の試行・訓練	13～14
代表者による全体の評価と見直し・指示	15



—社 是—

人の和
公明正大
創意工夫

環 境 経 営 方 針

環境経営理念

藤原金属株式会社は、永年の金属部品加工で磨き抜いた技術と確立されたマネジメントを駆使し、環境に優しい物造りを通して人々が人間性を発揮できる社会と環境の実現に寄与し、真にお客様に満足と信頼を頂ける製品を提供できる事業活動の推進に努めます。

環境保全への行動指針

1. 当社の生産活動が環境に及ぼす影響に配慮し、関連法規制、同意するその他の要求事項を順守し汚染を予防する事で環境・健康を確保します。
2. 施設・設備の省エネ・省資源活動の効率的運用により、二酸化炭素排出量及び水使用量の削減に取り組むと共に、産業廃棄物の発生抑制と分別・リサイクルをします。
3. 環境に配慮した生産活動を行います。
4. 環境影響を改善する為に、継続的な改善活動を行います。
5. この環境経営方針を従業員に周知すると共に、各部門に掲示します。



制定日：2004年2月1日

改定日：2020年1月27日

代表取締役社長

藤原 茂



藤原金属株式会社

組 織 の 概 要

更新日：2025年1月31日

- (1) 名称及び代表者名
藤原金属株式会社
代表取締役 藤原 茂
- (2) 所在地
兵庫県尼崎市潮江5丁目8番43号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 専務取締役 盛 博文 TEL:06-6422-0300
担当者 総務部 深江 百合子 TEL:06-6422-0300
- (4) 事業内容
金属部品製造業
電気溶接機用部品・半導体製造装置用部品・油圧機器部品・航空機用部品等の
金属プレス加工・板金加工・金属機械加工品の製造
- (5) 事業の規模
売上高 115,438 万円

従業員	53人
延べ床面積	2900㎡
- (6) 事業年度 10 月 1 日 ～ 9 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 藤原金属株式会社
対象事業所： 兵庫県尼崎市潮江5丁目8番43号
金属部品製造業

□事業や製品(商品)の紹介

昭和32年に設立以来、約60年にわたり精密部品加工を手掛けるメーカーで、2つの部門がございます。

製造第1グループでは、プレス・板金・溶接を行っております。

鉄・ステンレス・銅・アルミ等の金属の板形状の材料をプレスや打ち抜き、曲げや溶接加工により形を変えて、溶接機用部品、半導体及びロボット製造用装置部品、自然エネルギー電源装置の部品、防衛関連部品、航空機部品、油圧部品等の製品を作りだしております。

製造第2グループでは、機械加工を行っております。

鉄・アルミ・銅・ステンレス・タングステン・ニッケル・タンタル等難削材料を含め、様々な材質の材料をNC旋盤やフライス、ボーリング、ドリリング、更にはそれらの複合加工で図面要求の形状の製品、部品を製作致します。

多種少量で短納期の試作・開発品へのご要望にも対応しており、工場内には確保していた将来スペースも活用が決まり、可能性を追求しております。

平成26年8月に尼崎に新工場を設立し、大阪市の本社と豊中市の豊中工場を一つにしました。
これから会社の発展と共に地域活性化にもご協力出来るよう邁進してまいります。



設備一覧

製造第1グループ

名称	メーカー	台数
150トンダイレクトサーボフォーマ DSF-C-1500 A	アイダ機	1台
110トンハイフレックスプレス NC1-110	アイダ機	1台
100トン油圧深絞りプレス PDH-100	東洋工機	1台
45トンパワープレス TP-45C-X	㈱アマダ	1台
35トンパワープレス OBS 35	㈱小松製作所	1台
20トンパワープレス OY-10020	㈱ドビー	1台
30トンセットプレス SP-30II	㈱アマダ	1台
ACサーボプレス HIF35トン	コマン産機機	2台
油圧スピニングホルマー RPS-L135	富士機械製造㈱	1台
ハイブリッドドライブベンダー HG8025	㈱アマダ	1台
NCプレスブレーキFMBII、3613NT	㈱アマダ	2台
レーザー複合機TruMatic 6000fiber	トルンプ社	1台
8トン卓上ベンダー CB-83	㈱アマダ	1台
スクエアシャーリング NS-1235	㈱アマダ	1台
コーナーシャーリング CSW-250	㈱アマダ	1台
40KVAスポット溶接機 ID404HPNT	㈱アマダ	1台
35KVAスポット溶接機 YR-350SA	松下電産㈱	1台
22KVAスポット溶接機 YR-220SA	松下電産㈱	1台
インバータースポット溶接機 SID-6-505	中央製作所	1台
NCタッパー CTS900NT	㈱アマダ	1台
タッピングマシン BTI-203	ブラザー㈱	2台
ボール盤 NSD-340	KIRA	1台
金型研磨機	㈱アマダ	1台
足踏式スポット溶接機 SU-7	㈱ダイヘン	1台
歪取りロール機 HR-70MW	ヒノテック	1台
遠心バレル研磨機 HS-1	㈱チップトン	1台
回転式バレル機	㈱仁王機械	1台
CO2半自動溶接機 DM-350	㈱ダイヘン	1台
TIG溶接機 DA-300P	㈱ダイヘン	1台
ハイブリッドカシメ機 FCP-50i	㈱ファブエース	4台
コンターマシン L-300	LUXO	1台
乾燥機 PH-102	ESPEC	1台
バリ取り機メタルエステ 1000	㈱エステーリンク	1台
協働ロボットCRX-10IA カメラiRVision付	ファナック㈱	1台
ATC付サーボドライブベンダーEGB6020AE	㈱アマダ	1台
歪取りロール機HR1000MW	㈱ナショナルテック	1台
CNCタレットパンチEMK3510	㈱アマダ	1台
シート洗浄機ISW1000V	㈱アマダマシンナリー	1台

製造第2グループ

名称	メーカー	台数
CNC旋盤 LS30N	オークマ㈱	1台
CNC旋盤 LB3000	オークマ㈱	1台
CNC旋盤 LB2000MW	オークマ㈱	1台
CNC旋盤 LU3000MW	オークマ㈱	1台
CNC旋盤 LB300-M	オークマ㈱	1台
CNC旋盤 LU300M	オークマ㈱	1台
CNC旋盤 LU15M-2SC	オークマ㈱	1台
CNC旋盤 LU15-2ST	オークマ㈱	1台
CNC旋盤 LT200-M	オークマ㈱	2台
CNC旋盤 LU3000EX M	オークマ㈱	1台
CNC旋盤 LU45II	オークマ㈱	1台
CNC旋盤 LH55-N-C3000	オークマ㈱	1台
CNC旋盤 LB3000EX	オークマ㈱	2台
普通旋盤MS-850	㈱森精機製作所	1台
CNCジグボーラー YBM950V	安田工業㈱	1台
立型マシニングセンター MB56VA	オークマ㈱	1台
横形マシニングセンターMILLA 44HII	オークマ㈱	1台
5軸マシニングセンター T1	㈱牧野フライス製作所	1台
横形マシニングセンター s81nx 7	㈱牧野フライス製作所	1台
複合機 MULTUS B400W	オークマ㈱	1台
複合機 MULTUS U4000	オークマ㈱	1台
協働ロボットCRX-20IA カメラ付	ファナック㈱	1台
卓上ラジアルボール盤FET50	山本工業㈱	1台
自動盤 TB4-262GN	津根精機㈱	1台
ガントリローダー	オークマ㈱	1台
バーフィーダー ASR X-45M	㈱アルプスツール	1台
ARC溶接装置	日昭電機	1台
ツールプリセッタ UNO20/40	DMG森精機㈱	1台
産業用ロボットSRA100HB-01	㈱不二越	1式
産業用ロボットSRA120EL-01	㈱不二越	1式

製造部共有

名称	メーカー	台数
高精度平面研削盤 SGS85	㈱ナガセインテグレックス	1台

品質管理グループ

名称	メーカー	台数
投影機 V-12B	㈱ニコンソリューションズ	1台
ロックウェル硬さ試験機HR-523	㈱ミツトヨ	1台
三次元測定機 CONTURA 9/12/8 RDS	㈱東京精密	1台
CNC三次元測定器サイザックスSVA FUSION	㈱東京精密	1台
デジタル画像測定器 O-SELECT	㈱東京精密	1台

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2025年1月31日



主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	397,415	345,033	290,282
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	k g	3,840	3,840	3,840
産業廃棄物排出量	k g	18,359	12,614	13,727
水使用量	m ³	555	600	532
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）		0.434	0.434	0.434

kg-CO₂/kWh

環境経営目標及びその実績

□環境経営目標及びその実績

年 度		基準値	2024年		評価	2025年	2026年
項 目		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	324,436	317,948	268,452	○	311,459	308,214
	基準年度比	2023年	98%	83%		96%	95%
	原単位						
自動車燃料による二酸化炭素削減	kWh/千円	0.503	0.493	0.536	×	0.483	0.478
	kg-CO ₂	20,596	20,184	21,830	×	19,978	19,772
	基準年度比	2023年	98%	106%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	345,033	338,132	290,282	○	331,437	327,987
一般廃棄物の削減	kg	3,840	3,840	3,840	○	3,840	3,840
	基準年度比	2023年	100%	100%		100%	100%
産業廃棄物の削減	kg	12,614	11,353	13,727	×	10,091	8,830
	基準年度比	2023年	90%	109%		80%	70%
水道水の削減	m ³	600	600	532	○	600	600
	基準年度比	2023年	100%	89%		100%	100%
環境に配慮した製品活動	行動目標(次項による)						
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標(次項による)						



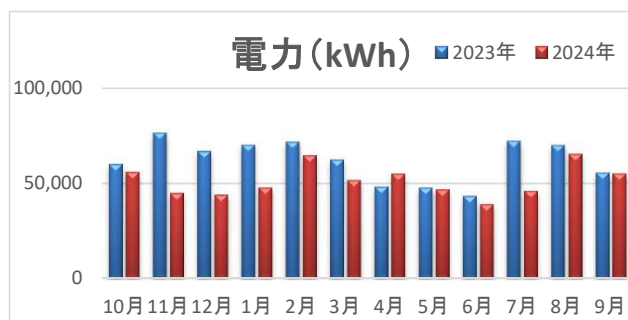
藤原金属株式会社

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	1年を通し、売上減少に伴い稼働時間も減少した影響により、電力使用量減に繋がりました。後半から新倉庫2Fも稼働した為、売上高からすると増えたと感じます。 来期に向け受注が増える予定もあり、今期は備える期間として設備配置や入れ替え、社員教育に時間を使う事を考えました。 ロボット設備の導入や設備のレイアウト変更等もあり、受注が増えてもより効率よく稼働するような動線の確保等を続けています。 生産方法の改善も同時に進めており、時間短縮に繋がったと感じます。 2024年2月: ATC付サーボドライブペインダー導入 2024年3月: シート洗浄機導入 2024年8月: CNCタレットパンチプレス導入 2024年8月: 歪み取りロール機導入 2024年9月: 協働ロボットワーク供給システム導入
・屋根遮熱塗装	○	
・不要照明の消灯	○	
・デマンド監視とアダプタの設置(ピーク時の電力を抑える)	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	



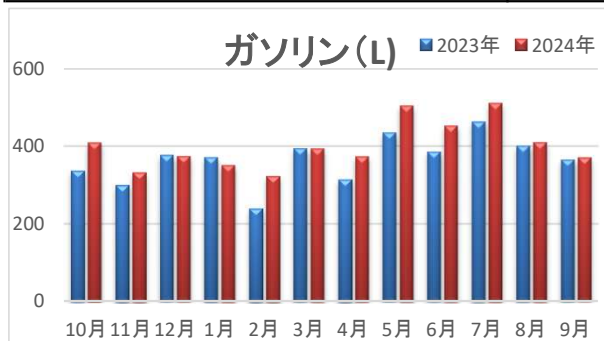
取組紹介欄

※実施要領が3Fで定める稼働のメソッドのスイッチを入れる稼働(7~8時)です。
※3Fには稼働要領が2Fよりも厳格な稼働が求められています。



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	60,322	76,741	67,143	70,362	71,965	62,616	48,411	47,917	43,437	72,436	70,296	55,903
2024年	56,069	44,949	44,106	48,019	64,954	51,781	55,307	46,858	39,241	46,188	65,645	55,435

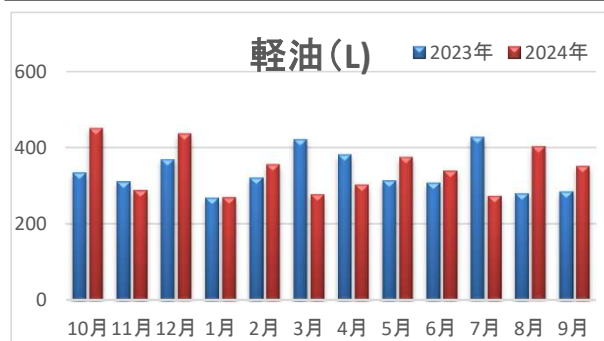
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	受注数が減っている分、各所への打合せ等が増え、使用量の減少にはなりませんでした。
・アイドリングストップ	○	【次年度の取り組み】昨年と同じく配車打合せ時に先月の結果報告をして意識改善に繋げる。新規募集している営業社員の採用に力を入れる。
・効率的なルートで配送	○	
・燃費管理表による監視	○	



取組紹介欄



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	338	301	378	372	241	396	316	437	387	464	402	366
2024年	410	334	376	352	324	395	375	506	454	512	411	372

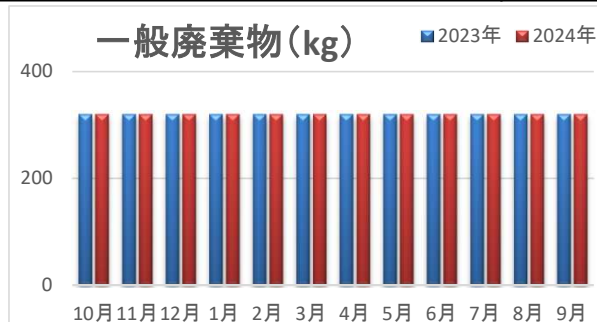


取組紹介欄



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	335	312	370	270	322	422	382	315	309	428	280	286
2024年	451	289	437	270	356	278	304	375	340	274	403	352

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	分別に力を入れており、シュレッダーや新聞雑誌の持込は削減に大きく影響していると感じます。データの電子保存も進めています。 置場に解りやすく表示をする等、意識して貰える工夫を続け、啓蒙活動を続けています。
・ 分別の徹底	○	
・ 帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・ 梱包材の再利用	○	
・ 持込ごみの見直し	○	



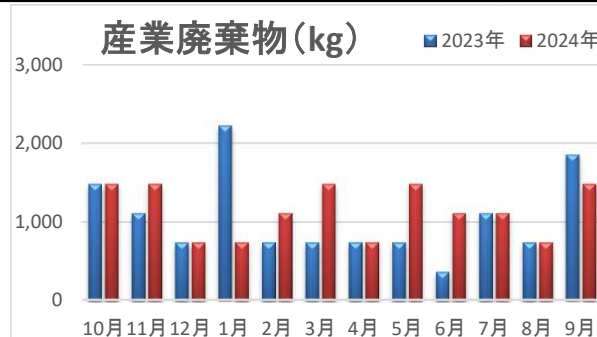
取組紹介欄

分別を徹底
するように
置き場を決め
明確にした



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320
2024年	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	前年度と同じく5S活動による整理整頓でのごみの増加や、分別が進んだプラスチックごみが増えました。また新たな機械設備の導入による廃棄物の増加、2階倉庫の稼働による整理、レイアウト変更による産廃量の増加もありました。 【次年度の取り組み】大型の設備導入と2階倉庫の本格稼働は廃棄物増加の大きな原因ですが、今後も分別に力を入れて行き、産廃を減らすように致します。
・ ゴミの分別(木くず・紙屑)/マニフェスト	○	
・ 金属屑のリサイクル/有価物	○	
・ 廃油のリサイクル/マニフェスト	○	
・ マニフェスト管理	○	



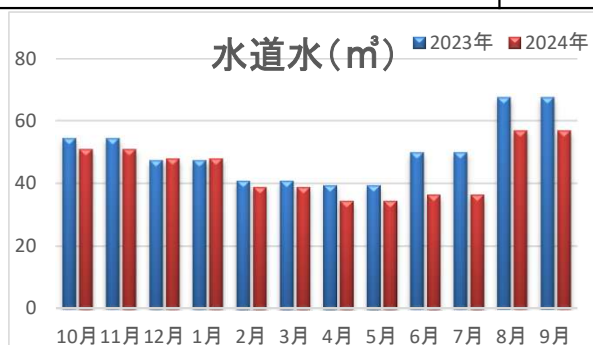
取組紹介欄

設備導入に
伴い
整理整頓し
動き易くし
効率を上げた



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	1,484	1,113	742	2,226	742	742	742	742	371	1,113	742	1,855
2024年	1,484	1,484	742	742	1,113	1,484	742	1,484	1,113	1,113	742	1,484

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	植栽や緑地には可能な限り自動散水装置を付けて管理し、雨水による植木の水やりも継続。手洗い人感センサーとトイレ擬音装置取付済。水の使用は外構の水やりが殆どで、雨水を利用している為、雨の量に左右されてしまう。今後も自動散水栓は点検を続け、雨量以外で影響を受けないよう努力する。
・雨水利用による植木の水やり	○	
・自動散水栓取付済	○	
・手洗い人感センサー取付済	○	
・トイレに擬音装置取り付け済	○	



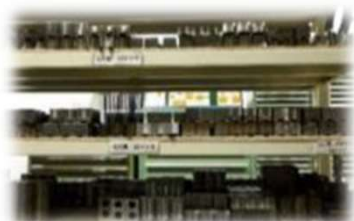
取組紹介欄



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2023年	55	55	48	48	41	41	40	40	50	50	68	68
2024年	51	51	48	48	39	39	35	35	37	37	57	57

環境に配慮した製品活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・ 5 S・3 定の実施と定着化	○	取引先の化学物質規制の強化もあり、新たに化学物質管理マニュアルを作成。 今後も益々規制は厳しくなると考えられます。 資材の購入等にも影響が及ぶ為、社員教育も含め管理の強化に努めたい。
・ 生産管理レベルアップ	○	
・ 不良率低減 品質会議開催	○	

取組紹介欄



課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・ 計画的な人材育成の実施 (既存技術継承・新技術習得)	○	2025年の業務改革の大きな3項目の中に「人材育成・能力開発」があり、計画的な育成の実施が、目的や部署別に出来るよう構築中。 定期的に報告会も行っている。昨年度のHPリニューアルの結果、問い合わせも多い。
・ 企業PRによる顧客獲得 HP、インターネット受け入れ	○	
・ 顧客対応の一貫管理システムの構築	○	
【中期計画】		
・ 多能工化		

取組紹介欄



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規制等名称	該当する設備・項目
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限、車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
高圧ガス保安法	高圧ガスの使用・貯蔵
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
騒音規制法	空気圧縮機、送風機の設置
振動規制法	空気圧縮機の設置
水質汚濁法	洗浄設備の設置
下水道法	除害施設の設置
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫の設置
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 緊急地震速報

■実施日： 2024. 6. 20

■実施場所 藤原金属㈱尼崎工場敷地内

■参加者： 全従業員



■実施内容： ☐ 通報訓練 ☐ 消火訓練 ☒ 避難訓練

①「緊急地震速報を受けたときの行動の具体例」事前配布→②緊急地震速報社内放送・避難誘導→③逃げ遅れ確認等、一連の流れに沿って実際に地震が起こって緊急地震速報が出た場合を想定した訓練を実施

■評価：

手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし

緊急地震速報を利用した訓練は2回目、初めて経験される方もいましたが、昨年経験した方が誘導してくれたお陰でスムーズに行った

■実施状況の様子

緊急地震速報の利用の心得

『周囲の状況に応じて、
あわてずに、まず身の安全を確保する。』

大地震の時の心得

1. テーブルや机の下に身をかくしあわてて外に飛び出すな
2. 大地震1分過ぎたらまず安心
3. テレビやラジオをつけて地震の情報を
4. 海岸でグラツときたら高台へ
5. 近づく自動販売機やビルのそば
6. 気をつけよ山崩れと崖崩れ
7. 避難は徒歩で荷物は最小限に
8. 余震が起きてもあわてずに正しい情報に従って行動を
9. 不意の地震に、日頃の用意



緊急地震速報を受けたときの行動の具体例

社内では

1F工場内では

- ・ 頭を保護し、機械からは離れ、通路が出来る限り外へ避難してください。
- ・ 無事に機械を止めようとして下さい。
- ・ 棚の近くには建れて下さい。

2F事務所などでは

- ・ 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難してください。
- ・ ガスの近くから建れて下さい。

屋内では

家庭では

- ・ 頭を保護し、大きな家具からは離れ、丈夫な机の下など安全な場所に避難してください。
- ・ あわてて外に飛び出さないでください。
- ・ その場で火を消せる場合は火の発生、火元から離れている場合は無事に火を消そうとしないでください。

人がおおぜいいる施設では

- ・ 施設の係員の指示に従ってください。
- ・ その場で、頭を保護し、棚れに備えて身構えてください。
- ・ 落ちついて行動し、あわてて出口・階段などには走り出さないでください。
- ・ 吊り下がっている照明などの下からは避難してください。

乗り物に乗っているとき

自動車運転中は

- ・ あわててスピードを落とさないでください。
- ・ ハンドランプを点灯し、まわりの車に注意を促してください。
- ・ 急ブレーキはかけず、緩やかに減速をおこなってください。
- ・ 大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止してください。

鉄道やバスなどに乗車中は

- ・ つり革や手すりにしっかりつかってください。

エレベーターでは

- ・ 最寄りの階で停止させて、すぐに降りてください。

屋外にいるとき

街中では

- ・ ブロック塀の側面や自動販売機の側面に注意し、これらのそばから離れてください。
- ・ 看板や割れたガラスの落下に注意してください。
- ・ ビルからの壁、看板、割れたガラスの落下に備え、ビルのそばから離れてください。
- ・ 丈夫なビルのそばであれば、ビルの下に避難してください。

山やけけ付近では

- ・ 落ちやがけ崩れに注意してください。

会社周辺の避難場所一覧表



1 大丸避難場所/あまがきミュージアム（近・1階駐車場）

2 津波等一時避難場所/ホテル尼崎

3 津波等一時避難場所/品川 第二ビル

4 津波等一時避難場所/ローレルスクエア尼崎（近・1階駐車場）

5 津波等一時避難場所/アミューズメントビル（近・1階駐車場）

6 津波等一時避難場所/アミューズメントビル（近・1階駐車場）

7 津波等一時避難場所/アミューズメントビル（近・1階駐車場）

8 津波等一時避難場所/アミューズメントビル（近・1階駐車場）

9 津波等一時避難場所/アミューズメントビル（近・1階駐車場）



藤原金属株式会社

緊急事態の想定： 火災の発生

■実施日： 2024. 9. 17

■実施場所 藤原金属(株)尼崎工場敷地内

■参加者： 全従業員



■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練

①火災発生→②受信機確認→③火災発見→④通報→⑤社内放送・避難誘導→⑥初期消火→⑦逃げ遅れ確認等、一連の流れに沿って、実際に火事が起こった場合を想定した訓練を実施

■評価：

手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし

消火器や消火栓を全従業員が使い、取扱いや防火の意識が高まった。

■実施状況の様子



代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年1月31日

昨年度の設備導入後、教育関係にも力を入れ、効果が表れていると感じる。
本年度も自動化に向かうべく、機械設備とロボットシステムを導入しレイアウトを変更した。
生産の流れも計画、変更を続けており、倉庫2Fも2024年4月より稼働している。
電力の使用量はデマンドアダプタを取付済み従来より運用のデマンド監視装置との相乗効果による電力使用量の監視を続け、屋根の遮熱塗装も済んでいるが、今後も設備計画もあり、カーボンニュートラルへの取組みから2024年3月にはSBTを取得し、太陽光発電導入を検討している。
営業部の人員増員が遅れているが、若手の活用は進んでおり、今後も教育に力を入れていく。
ガソリン使用量の削減に繋がるよう、一丸となった取り組みを心がける。
レイアウト変更は産業廃棄物の増加にも繋がったが、分別により一般ごみは減らせたので、今後も5S活動を続けながら努力する。
一方で水道料金は設備の点検と水を使わないで済むよう外構を整えた。
また、経営課題である人材についても、ロボットの導入や自動化も進めており、教育体制も見直しているが、引き続き求人にも力を入れ、人材確保に繋げる。
今後も環境に配慮した生産活動を会社全体で続けていく。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり

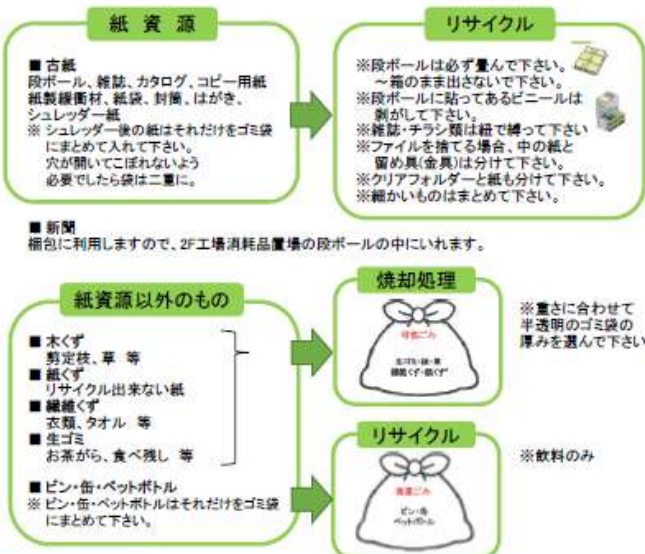
実績を踏まえて見直すこと

これまでの環境活動の紹介

事業系一般廃棄物

火・木・土 に集荷されます～土曜日は西門が空いていた場合

毎週、火・木・土に回収されるゴミは下記の通りです。



編集後記

弊社の事をより知って頂こうと、ホームページと会社案内を更新しました。
環境活動についても、アピールしていける場に行きたいと思っております。
新しいホームページには動画も載せ、新しい設備等も見頂くことが出来ます。

産業廃棄物

毎月第1金曜日 に集荷されます～休日の場合は見送り

月に1回、弊社から出るもので、産業廃棄物として回収されるゴミは下記の通りです。

